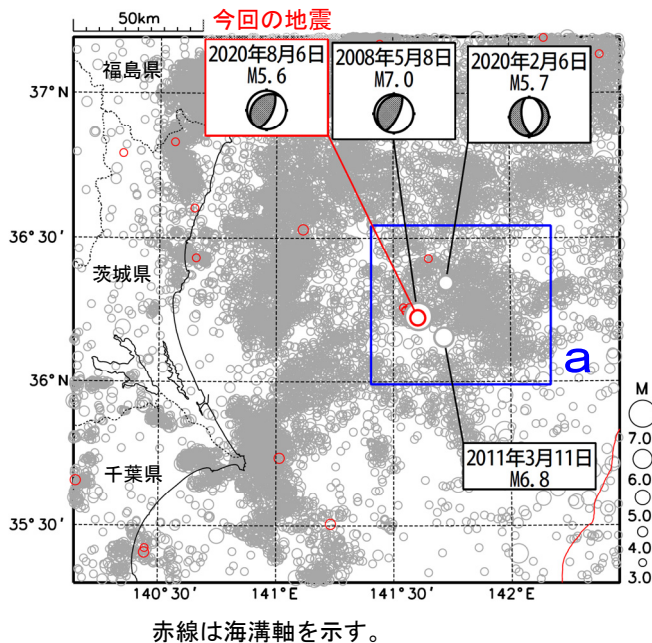
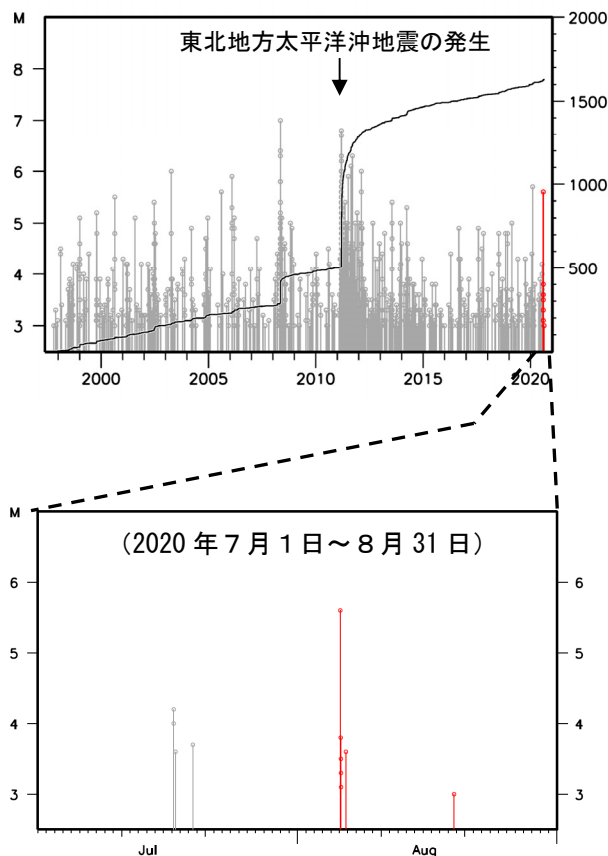


8月6日 茨城県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2020年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2020年8月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内のM-T図及び回数積算図

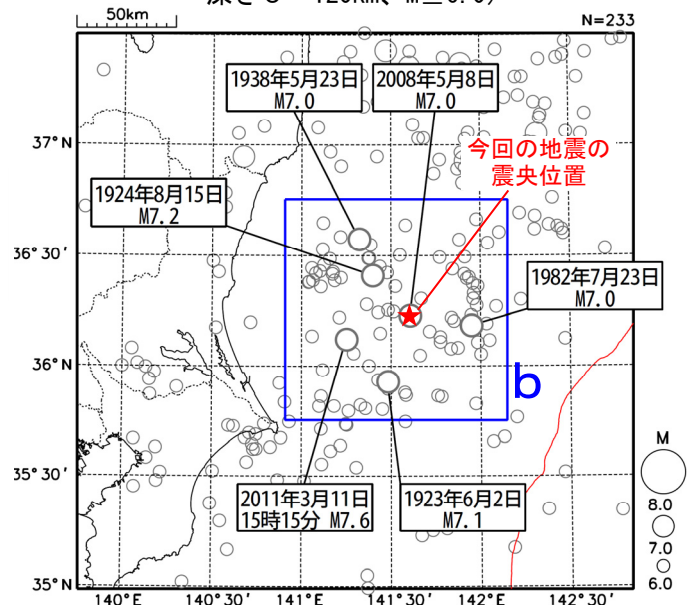


2020年8月6日02時54分に茨城県沖で $M5.6$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。2008年5月8日に発生した $M7.0$ の地震（最大震度5弱）では、負傷者6人などの被害が生じた（総務省消防庁による）。「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震）が発生した際は、地震活動が活発に推移した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、 $M7.0$ 以上の地震が時々発生している。このうち、2011年3月11日15時15分に茨城県沖で発生した $M7.6$ の地震（最大震度6強）は、東北地方太平洋沖地震の最大余震である。

震央分布図
(1919年1月1日～2020年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)



領域b内のM-T図

